

危機管理マニュアル(震災対応:学校防災マニュアル) チェックリスト

チェック日時(年 月 日) 学校名()

学校防災マニュアル様式例(県立学校用)
※県教委 学校安全対策課 HPに掲載

項目	チェック	今後の修正内容	自校マ ニュアル	※様式例
★ 教職員が自らの安全を確保するために必要な対策・行動等を記載している			p○	冒頭
1 学校の立地条件・南海トラフ地震による災害想定等について				
① 最大震度・揺れの時間等を記載している			p○	p1
② 標高、海岸からの距離を記載している(津波浸水域に入る学校のみ)				p1
③ 想定された最大津波浸水深・30cmの津波が到達する時間(津波浸水域に入る学校のみ)				p1
④ 土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域を確認、記載している				p3
⑤ 学校内で地震発生時に危険が予測される箇所を明示している(落下物、倒壊物など)				p3
2 組織体制について				
① 災害発生時の指揮命令者(氏名を含む)を少なくとも5番目まで記載している				p4
② 災害発生時の組織体制(担当氏名)を記載している				p4
③ 勤務時間外の災害発生時における参集体制(氏名を含む)を記載している				p5
④ 全ての教職員の参集方法を記載している (参集手段・所要時間、学校に参集できない場合の参集場所)				p5
⑤ 災害発生後1時間以内に参集可能な教職員(氏名を含む)が確認できる				p5
3 地震発生時の避難場所・避難経路について				
① 複数の避難場所を記載している(近隣の避難場所の把握を含む:地図掲載) (校舎見取図や、近隣の避難場所までの学校からの距離・時間を明示(例:徒歩10分等))				p1 p2~3
② 避難経路を記載している(可能なかぎり、複数の避難経路を図示) (避難経路上の危険が予測される箇所があれば記載)				p2~3
4 地震発生時の対応について *以下の対応等を具体的に記載している				
【児童生徒が在学中の対応】				
① 安全確保及び避難行動の具体的な指示を記載している				p9
② 避難場所を具体的に記載している				p9
③ 特別教室等の留意事項を記載している				p10
④ 休み時間、清掃活動中等の対応を記載している				p10
⑤ 一人で避難できない児童生徒(要支援者・負傷者等)への対応を記載している				p9~10
【児童生徒が校外活動時の対応】				
① 当該地域の避難場所等を、教職員が事前に調べておくことを記載している				p11
② 情報収集の方法を記載している				p11
③ 一人で避難できない児童生徒(要支援者・負傷者等)への対応を記載している				p11
【児童生徒が登下校中の対応】				
① 通学路上の地域の避難場所を、児童生徒に調べさせておくことを記載している (児童生徒の安否確認を行う避難場所等の情報を把握(記載)している)				p12
② 学校内外における児童生徒の安否確認について記載している				p12
③ 児童生徒の安否確認を行う避難場所等の情報を把握(記載)している				p12
【児童生徒がスクールバス乗車時の対応】(スクールバスの運用がある学校のみ)				
① スクールバス運行ルートとルート上の避難場所を明記している				p14~15
② スクールバス乗務員の役割を明記している(事前共有は必須)				p14~15
③ 家庭・学校への連絡方法を決めている				p14~15
【児童生徒が在宅中の対応】				
① 自宅からの避難場所を、児童生徒に調べさせておくことを記載している (児童生徒の安否確認を行う避難場所等の情報を把握(記載)している)				p13
② 児童生徒の安否情報を、家庭に連絡する体制を記載している				p13
5 地震発生直後の対応について				
① 関係機関との連絡方法を具体的に記載している				p6~7
② 保護者との連絡方法を具体的に記載している				p8
③ 保護者への引き渡しの判断基準を具体的に決めて記載している				p16~18
引き渡しの手順を具体的に記載している				p16~18
引き渡しカード(引き渡し名簿)等を作成し、適切に保管している				p16~18
6 地震発生後の対応について				
① 避難所対応について記載している(県立学校は避難所対応マニュアル)				p24
② 学校再開に向けた対応について記載している(学校再開計画を策定している)				p25